

授業科目名	LD等教育総論
単位数	1
授業形態	
講義コード	5740
授業担当者氏名	阿部崇(アベ タカシ) 野澤純子(ノザワ ジュンコ) 宮島祐(ミヤジマ タスク)

授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	1. 発達障害、および重複障害の心理・生理・病理の基礎を説明できる。 2. 発達障害、および重複障害の教育課程・指導法を列挙できる。 3. 発達障害、および重複障害の問題点と支援のあり方を述べることができる。	
授業概要	LDとともに関連する発達障害、および重複障害の概念・定義・病態生理と各々の行動特徴を理解する。また発達障害、重複障害の教育課程と教育方法について基本的な知識を習得できるよう講義する。さらに発達障害児、重複障害児の発達臨床の基礎については、子どもの成長・発達に応じた関わり方、家族支援のあり方、心理・教育アセスメントの方法、特別支援教育の意義と実際、および心理社会的問題を、具体的な例を示して解説する。	
教育課程内の位置づけ	子ども支援学科 専門教育科目 支援科目 3年 選択	
授業におけるアクティブな特徴	特徴	該当
	A:課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-
	B:課題解決型(PBL)連携なし	-
	C:討議(ディスカッション、ディベート等)	-
	D:グループワーク	-
	E:プレゼンテーション	-
	F:実習、フィールドワーク	-
	G:双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)	-
	H:双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、manaba等)	-
	I:反転授業	-
J:外国語のみで行われる授業	-	
授業計画	第1回	LDと他の発達障害の概念・定義・分類、病態生理(宮島 祐)
	第2回	読字困難、書字困難、算数障害(宮島 祐)
	第3回	心理・教育アセスメント(野澤純子)
	第4回	発達障害児の教育課程と指導の実際(野澤純子)
	第5回	重複障害の概念・定義・分類、病態生理(阿部 崇)
	第6回	重複障害の教育課程と指導の実際(阿部 崇)
	第7回	発達障害児、重複障害児の家族支援、関係機関連携(阿部 崇)
授業外学修 予習(事前学修)	各授業 [平均30分] 保育・療育専門家を目指す自覚を持った態度で授業に臨むこと。	
授業外学修 復習(事後学修)	各授業 講義ごとに、要点をA4版1枚程度に文章で整理すること。次回の講義テーマについて、テキストや配付資料等で予習しておくこと。 [平均60分]	
評価方法	期末課題75%、ミニレポート15%、平常点10%、60%以上を合格とする。	
教科書等	テーマに沿った資料を適宜配付する。	
課題に対するフィードバックの方法	最終講義において全体に向けてフィードバックを行う。	
その他	オムニバス形式	
授業担当者の実務経験の有無	実務経験あり	
授業担当者の実務経験の内容	阿部: 特別支援学校に勤務した経験を活かして、事例や実務上の経験なども織り交ぜながらより実践的な講義を行う。 野澤: 臨床発達心理士の経験を生かした心理・教育アセスメント等の講義を行う。 宮島: 医師(小児神経科医)として発達障害児の診断と治療・対応に従事した経験を生かした講義を行う。	
ファイル		